

【なぜ大富豪のバフェットは大都市ニューヨークではなく田舎のオマハに住むのか？】

どうもゆうです！

読者さん、こんばんは。

さて、前号にて最近の政治情勢について

【オリンピックで急接近した北朝鮮と韓国の南北関係について考える！】

という号を流しました。

今世界でどのような駆け引きが起こってるか？というのが分かりますので興味あったら見てみてくださいね～

さて、それで私のメルマガでは定期的に

世界一の投資家とされるウォーレン・バフェット

のことについて扱ってるのですが

この資産数兆円とも言われるバフェットですが

よく知られているのが彼はオマハという田舎に住んでるわけです。

「なぜ大富豪のバフェットは都市ニューヨークではなく田舎のオマハに住むのか？」

について知りましょう！

投資家は生活する場所もこだわります。

【なぜ大富豪のバフェットは大都市ニューヨークではなく田舎のオマハに住むのか？】

さて、今日は

【なぜ大富豪のバフェットは都市ニューヨークではなく田舎のオマハに住むのか？】

について考えて生きてしたいと思います。

私ゆうなんかはバフェットファンでして、

彼関係の書籍っていうのは色々読んでるんですけど

まあバフェットの行動とか、考え方って勉強になるな～

おもしろいな～とよく思います。

それでバフェットっていうのは日々の生活がかなり質素っていう

ことは知られていまして

毎日コーラを飲んでみたいな生活で、とても大富豪の生活には

一見思えないわけですけど

特に有名な一説というのが彼はアメリカのネブラスカ州のオマハ

っていう田舎で昔60年前に安く買った家に住んでるっていう

話ですよ。

それで、これが多くの人の疑問なところなわけでした

「なんで資産数兆円超えるようなスーパー富裕層のバフェットは
田舎の60年前の家に住んでるの？

ニューヨークとかそういう都市に住まないの？」

とみな思うわけです。

一般的に、投資やビジネスの世界で勝負するならば

~~~~~  
投資やビジネス関係者が多くいて、沢山の情報が集まる街に

~~~~~  
住むのが得策だと考えるものですよ？
~~~~~

しかしバフェットはこの考え方を否定してるわけです。

ちなみにバフェットっていうのは一時的、若い時に

ウォール街のあるニューヨークにで暮らしたことはあるんです。

しかし人生の大半は生まれ故郷の、自然に恵まれた

オマハで送っているわけですね。

それでバフェットがニューヨークに住んだのは大学卒業してから

のことなんだけど、

ここで彼の師匠がグレアムですが

このグレアムの会社に入って、そして大好きな仕事をしていた

わけです。

だからバフェットはグレアムがそこにいたからニューヨークに

住んでいただけで

グレアムが引退したらそそくさと田舎のオマハに戻ってるんですね。

それで・・・

「バフェットがなぜニューヨークを離れたか??」

っていう理由はなんだと思いますか？

これは日本人の東京住みの人はみんな分かる動機なんだけど・・・

そうなんです、「電車が嫌だったから」ってのが結構大きな理由として

あったらしいです。

「電車に乗って行ったり来たりが相当嫌だった」ということだった

ようですね。

今のサラリーマンが満員電車とかいやで、ネットビジネスや投資を

学ぶのと動機は似ておりますよね？

それでバフェットが述懐してるのが

「(田舎の)オマハの生活のほうがずっと

まともですよ(人間らしいという意味)。

ニューヨークで働いていた頃、都会のほうが刺激があつて  
それでアドレナリンも分泌されると思っていた。

けどあのまま、ニューヨークにとどまって都会特有の刺激に  
頭が反応するようになってたら

頭がおかしくなっていたでしょう。

やっぱり田舎のオマハにいたほうが

「考えがまとまり」ます。」

ということなんですね。

バフェットっていうのは、ありとあらゆる情報が必要という

考えではなくて

「それらの情報を租借して考えをまとめる」というのを

重視しているのが分かる話ですよ。

それが金持ちになる道のりだと分かりますが、

その中でバフェットは洪水のような情報が

投資で必要という考え方はしなかったわけです。

それよりも都会特有の雑音からはなれて、

それで目の前の銘柄の情報に「集中する」。

これが大事だということを悟っていたわけですね。

それで初めて考えが「まとまって」それで

次に優れた決断につながる、ということを理解していたわけです。

だからバフェットからしたら投機的なウォール街の喧騒は

うるさいものでしかなくて、

電車で行ったり来たりも疲れるものだったので

だから彼は田舎のオマハに住んだわけですね。

そして田舎のオマハにいながらにして資産10兆円近くを

稼いだ、ということです。

(60歳時点では1000億円、だったけどさらに伸ばした)

それでバフェットの主張は面白くて

「郵便物が3週間遅れて届くような田舎に住む方が

運用実績残せるよ」

ってことなんです。

ちなみに、今はネットがありますよね。

だからどんな田舎でもネットを通じて情報って私たちは取得できる

わけですけども・・・

バフェットが当時ネブラスカ州のオマハに戻ってきた頃ってのは  
ネットなんてないわけです。

ちなみにオマハって私はパークシャーの株主総会とかいったことはないけど  
写真見る限り、結構良い感じの田舎で  
日本でいう栃木県とか群馬県の田舎らへんな感じでしょうか。

まあ空気がきれいそうなところですよ。

それでバフェットがオマハに戻った頃なんてさらに田舎だったわけで  
当然インターネットはなくて情報自体入ってこないようなところですよ。

情報が毎日洪水のように入ってくるニューヨークとは  
あまりに違うわけですね。

情報集積地のニューヨークから遠ざかるってことは  
「一般的には」成功から遠ざかることを意味していたわけです。

しかしバフェットはこの「情報の近くにいることが成功の近道だ」  
みたいなそういう一般的にされている考え方には否定的で、

むしろバフェットは「情報に近すぎると1年で破産する」  
と断じているわけです。

1年は早すぎかもしれないけど、確かに都会にいる人って  
そういえば破産とか破綻してる人謎に多いな・・という気は  
ちょっと私もしました。

それでバフェットがいうのは

「郵便物が3週間遅れて届くくらいのところに住んだ方が  
優れた運用実績を残せるかもしれない」  
ってことですよね。

さらにバフェットがいうのは

「仮にFRBのグリーンズパーン議長が私のところに来て  
~~~~~  
2年間どういう金融政策を取るか教えたとしても
~~~~~  
私の行動になんら影響はない」  
~~~~~

とまで言ってるわけです。

それこそやれ金融緩和だ、暴落だ、と振り回されることが
多いのが投資家というものだけでも、

バフェットはそういうのに動じないってことなんですね。

これ「強い」ですよ。

というのはバフェットというのは情報の非対称性を利用して

すなわち秘密情報とかそういうもので稼ぐみたいな考え方はあまり好きじゃないわけですね。

それよりも「これは素晴らしいと思った企業を持ち続けることで利益を得るのが投資だ」

と考える人であって私もこの考え方を株なんかで踏襲していますがやはりその考え方が大事なわけです。

彼の場合そのスタンスをずっと守り続けているのでだから経済的な政治的な予想は気にも止めないんですね。

そういう情報に振り回されていたらすぐに失敗して上にあるように「1年で破産する」っていうことなんです。

これはすごい重要なことですよ。

私たち現代人は

暴落とか暴騰とかとにかく色々な情報が最近では田舎にいてもネットから洪水のように入ってくるわけですよ。

そこでいちいち一喜一憂してたりうろたえたりしていたら当然変な投資行動をしてしまうわけですが

バフェットというのはそういうのをしないんですね。

あくまでも落ち着いて自分が「一生保有する」くらいの
勢いで精査した上で買った銘柄を手放さないわけです。

一番重要なのはその投資する企業ってのが
長く優良であり続けられるかどうかでありまして

そうした価値を正確に把握していれば

別に例えば歴史的な事件が起きて暴落しようとも
そこで投資判断を変えるということは起きないわけです。

だから「自分が買う銘柄(株でも暗号通貨でも)の
価値を正確に把握する」っていうのがとても大事なわけですね。

ここでちゃんと買う前に「価値の認識」があれば
暴落がこようと何しようとそれは保持できるわけです。

例えば私ゆうなんかは金地金なんかはもう何年も保有してます。

ずーっと利益が出てる状態だけどずっと保有してます。

株も同じく長期保有ですね、基本。

ただ私はバフェットの真似をしたいと思ってそれをやってるけど

やっていてわかるのが

「ちゃんと買う前に相当数の根拠、価値の下調べと認識があれば
狼狽して売るとかそういうことはしない」

ってことなんですね。

やはり自分の中で確信が生まれるってことだろうと思います。

これは長期保有したことのある人なら分かると思いますけども。

それでバフェットはそういう考え方ですから、

情報に振り回されることはないわけです。

そしてあらゆる洪水のような情報が入ってくるニューヨークなんかは
むしろそれが害であると考えて

だからネブラスカ州の田舎のオマハなんかに住んでるわけですね。

それで彼は考え方をまとめて、投資を継続して行って

いつの間にやら大富豪になった、ということです。

だから投資をやる「みんな」が情報が集積している場所が有利

だと思ってるけど

バフェットはその「みんな」から離れてオマハに行ったんです。

それが彼の強さであって、判断だったわけですけど

それが結果として彼の資産を作ったのだ、というのがなんとなしに
こういうエピソード見ていると分かりますよね。

ちなみにこのバフェットの「都会をあえて離れる」というのは
今の時代やはり強力だと私は経験上思うんですね。

私なんかはこれ実践を何年間もしてまして、
以前は東京近くに住んでいたものですがその後
熱海に移住したわけです。

熱海っていうのは一言で言うと平日に道を歩けば
じいちゃんばあちゃんしかいないんだけど
まあ祝日とかは観光地だから若い人が来るけど
基本的にはもう田舎なんです。

それで私が住んでいたのがこんな感じで
海と山が見えるところだったんだけど

(写真)海と山見える
<http://yuhfx1.com/gazou/japan/atamiresid1.JPG>

あと温泉がついていました。

(写真)温泉もついてた(ほぼ毎日貸切状態でした)
<http://yuhfx1.com/gazou/japan/atamiresid2.JPG>

だからまあすごい落ち着いた感じの生活を長く地方で

2年以上生活していたのだけど、
(現在はマレーシアと韓国に住んでいます)

じゃあそこで収入落ちてギリ貧になったか??

というと逆だったんですね。

ネットだけは光ファイバーとかが地方でも入りますので

100 MBPS 最大で通信できますので

投資とかはできるんですね。

FX とか株とかは問題なくできますよね。

それでじゃあ情報が熱海で不足しているから

収入が落ちるかというそういうことはなくて、

逆にやはりバフェットが言うように「考え方がまとまる」

のですよ。

だから逆に地方に移住して

資産がかなり増えたのが事実です。

要するに今って稼ぐ方法なんてもう無限にあるんですね。

ネットの時代だからいくらでも稼ぐ方法あります。

仮想通貨一つとっても トレードもあれば

ICOもあれば、マイニングもあれば、アービトラージもありますが

もう稼ぐ方法なんてあふれてるんですね。

実はもっとも重要なのは「考え方をまとめる」というところでして

そういう意味で、地方暮らしって結構有利なんです。

上の温泉とか入りながら海見ながら考えたりしてたんだけど

あとは海に見えるデッキが上の写真であるんだけど

そこでアメスピをぷかぷか吸って色々考えるわけですよ。

んで、部屋に戻って考えたことを実行する、

みたいな生活でしたが

結果資産は地方暮らししながらかなり増えましたよね。

だから世の中で言われている「情報に近い方が成功に近い」

ってのはバフェットのように疑うことも大切だと

私なんかも自分の経験を踏まえて思います。

あと、田舎の良いところってお金かからないんですね。

私が住んでいたところなんてマンションに温泉がついていて

24時間入れるわけですが

それで結構な絶景だったんですけど

あと部屋もかなり広くて綺麗でしたが

それでもたぶん東京のOLのマンションのほうが高いんですよ。

それで地方は物価が安くて、熱海なんかはスーパーによっては

相当安く海鮮が買えますから、

毎日のように新鮮な海鮮丼を食べていたものです。

そんな生活東京でしたら相当なコストですが

地方だと安いんですね。

また最近だとネットは早いし、あとはアマゾンとか楽天使えば

相当楽に買い物できちゃうし、

また車さえあれば、ですけど移動も全く不便がありませんでした。

それで生活コストがとにかくかかりませんから

お金が投資にまわってこれまたお金が増えていくわけですよ。

それで考え方もまとまる、ってことでなんというか

地方って最高だなんていうのは当時思っていて

よくメルマガにも書いていましたよね。

だからバフェットが言ってる事ってのは結構本質じゃないかな～

と自分で地方暮らしをやってみた経験からも思います。

それであれから数年経過して私はマレーシアにさらに移住したわけですが

マレーシアは熱海よりは都会ですけど

特に普段は家族と接するのがメインですから

情報は限られるといえば限られるけど、

それでも考え方はまとまって行動量とか仕掛けとか分析時間とか

考える時間ってすさまじく増えるんですよ。

ある意味日本から隔離されてる環境ですから。

ただ考える時間も読書量も必然的に増えるから

やっぱりこれから資産はさらに増えていくだろうなという

感じはします。

ちなみに与沢さんなんかバフェットと

同じようなことおっしゃっていたけど

いや～ほんとその通りだ、と思います。

やっぱり集中力って大事ですからね、その集中する環境

ってのは都会じゃないほうがいいのかもしれない。

(一応 KL も都会といえば都会ですけどね。ただ私にとっては
熱海と同じ観光地的な感覚です)

それで、ここ最近ネットの時代ですから
それこそバフェットが若かった時以上に
「住む場所が全く関係ない時代」であります。

だから今ネットで稼いでる読者さんも多いと思いますが
そして大多数の方がたぶん首都圏だったり、大阪府周辺だと
思われますが

ここで住む場所なんかも自分で考えてみてもいいかも
しれませんね。

一般的な考え方として
情報の非対称性で儲けるのを主軸として
「情報を取る場所」=都会を選ぶのか

もしくは考え方をバフェットのようにまとめることを
優先して田舎に住むのか、

この辺を選択できるのがパソコンを使った稼ぎ方の
良い点でそれが「場所の自由」ですので

その自由はどんどん有効活用して
自分に有利な場所を探して住んで、

そこで投資なりビジネスなりするといいかもかもしれません。
バフェットのように。

それでこんな風にバフェットの逸話みると
すごい日本人の私たちにも親しみやすい考え方をする人だな
とも思いますよね。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみにこのバフェットの思想をもう少し解剖したい
と思いますが、

ヘッジファンドみたいなのは情報をどこよりも早く仕入れて
それで仕掛けていくという考え方でして

それは短期投資になりやすく、まさに「投機」ですね。

一方バフェットはずっと銘柄保有してその会社と結婚したように
銘柄を保有していくわけで、これは「投資」と言えます。

それで上の話っていうのは実は「情報の非対称性」という
考え方があって

すなわち「全ての人が同じ情報を持っているわけじゃない」
っていう今の現代の情勢があるわけですね。

そこで裏情報を取った人が稼ぐ、みたいのが現代の状態です。

そこでヘッジファンドなんかは裏情報を誰よりも先に得て
稼ぐわけですけど

バフェットはこの 情報の非対称性を使った稼ぎ方には否定的
なんですね。

なぜだろう、ということですけど実は

資本主義でもっとも重要なのは情報の非対称性と反対の
完全情報です。

これはレポートにしました。

【インターネットの登場が「人類に初めての資本主義」をもたらす】
http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_perfect_information1.pdf

この完全情報というのが資本主義の前提といわれてるのだけど
だから今の2018年時点では完全情報なんて存在しない絵空事であるから
実は資本主義って人類に誕生していない、というのが
正確な言い方なんです。

が、ネットが発達してこれからVRも発達して
となってくるから、どんどんこの情報の非対称性というのが
改善されて完全情報状態に近くなるんです。

そこで、初めて純資本主義といえるようなそういう状況に
人類が突入していくんですよ。

今は人類が資本主義に突入する前の、段階であるといえます。

ちなみにこんなことを言ってる言論人は私以外どうもいませんが
やはりこの辺の見かたは私は自信を持っています。

というか大思想家の小室直樹先生が残していった考え方ですから。

それで今の情報の非対称性(ある人は情報をもっていて、
ある人は情報をもっていない)

というこういう状態を利用して裏情報で稼いでいくっていうのが

今の日本では流行しているのだけど

これは正確に言うと資本主義ではなくて、前期資本主義といわれます。

が、バフェットは資本主義を大事にする人ですから

この前期資本主義的な戦い方、投資の仕方をあまり好まないんです。

彼がレバ使った投機を嫌いなのはその辺の思想が関係してます。

一方彼が好むのがまだ人類には到来していないけど

情報の非対称性がなくなった完全情報が達成された

純資本主義での投資家のあり方なんですね。

だから彼は「公開情報を」徹底的に読み込むわけです。

(これは2日くらい前に配信した号を参照。)

それでこの純資本主義的な戦いを

あくまでも公開情報で続けてきたバフェットが

秘密情報を主にしてきたウォール街の人たちよりも

投資における成績をあげて、

世界一の投資家になったというのは重要な事実なんですね。

すなわちこれから純資本主義的な戦い方をした人のほうが

おそらく長期で儲かるのだ、ということです。

それがバフェットの分析をしていると分かってくるってことですね。

それでももう少し言うところの「インフォ業界」っていうのは
情報を扱ってるわけだけど

社会でのインフォ業界の役割ってのは実際のところは
情報の非対称性をなくして完全情報状態に近づけるという
役割になります。

だから本当にみんながみんな稼ぐ方法を理解して
考え方を理解したら完全情報状態に近づいたら
このインフォ業界っていうのはなくなるか、もしくは
新しい形に変わっていくのでしょうね。
そういうところまで分かってきます。

それであくまでバフェットは情報の非対称性の
裏情報の部分で勝負するんじゃなくて

公開情報で投資を仕掛けていくから
そこで裏情報もいらないしそれがなくても
稼げるから、

ニューヨークにはいる必要がないわけですね。

さらに今の時代はネットが登場して田舎にしようとも
情報取れちゃいますから、

だからこそ公開情報なんかを頭で整理して
「考えをまとめる」ほうが
より重要になってきてるってことでしょう。

だから意外に考え方がまとまる地方とか海外が
よいのかもしれない。

では！